

CONCEPT NOTE

## 2022 年度アジア太平洋青少年相互理解推進プログラム

### Bridge Across Asia 国際協働学習事業

～自分と向き合う、他者を知る、世界に出会う～



公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

## 2022 年度アジア太平洋青少年相互理解推進プログラム Bridge Across Asia 国際協働学習事業

### 1. プログラム概要

日本を含めたアジア太平洋の 5 か国の多様なバックグラウンドを持つ高校生が共に学び合うことを目的として協働型学習を行う。具体的には対話型ワークショップや Model UNESCO などの様々な手法を用いることによって、昨今の先が不透明な社会で生きる上で必要となる、答えのない問いを考え抜く力、地球的課題への理解力、問題解決能力、多様性への寛容性、将来へのモチベーションの向上を目指す。

### 2. 背景

昨今のコロナ禍や国家間の対立など様々な問題と共に社会は不安定化し、不寛容性が蔓延する状況で不確実な時代を生き、将来を担う高校生のエンパワーメントの重要性は増している。本プログラムではその世代の多様性に対する感度や将来への意欲の向上、答えのない問いを考え抜く力を育むことを目的とする。そのために様々な背景を持つ日本を含めたアジア太平洋の高校生を対象とする主体的・対話的な学びを軸として「自己・他者・社会」への理解を深める国際協働学習を実施する。

### 3. プログラム目標

本プログラムは参加者の以下の 4 つの能力資質を育むことを目標として定める。

- ①考え抜く力
- ②寛容性
- ③モチベーション向上
- ④地球課題に対する理解と問題解決能力：地球的課題への関心や理解を高めると同時に、その解決のために必要な能力(問題解決能力・問いを立てる能力・表現力・他者との協働能力)を育む。

本プログラムにおいて多様なバックグラウンドを持つ参加者同士で明確な答えのない問いを考え抜くことを通じた対話を深めることは他者を深く理解・共感することに繋がり寛容さが養われる。そして安易な結論に走らず、とことん考え抜く上での気づきがプログラム期間内において明確な答えが出なかったとしてもその後も考え、行動していくモチベーションに繋がる。

### 4. 参加者

a. 参加人数：合計 40 名

インド環境教育センター(Center for Environmental Education)・韓国ユネスコ国内委員会(Korean National Commission for UNESCO)・タイユネスコ国内員会(Thai National Commission for UNESCO)・モンゴルユネスコ国内委員会(Mongolian National Commission for UNESCO)から推薦を受けたインド・韓国・タイ・モンゴルからそれぞれ 5 名ずつの高校生がオンライン参加し、書類選考で選ばれた日本の高校生 20 名とペアを組む。

b. 参加資格:

- (1) 高等学校に在籍していること
- (2) 全てのプログラムに積極的に責任感をもって参加できること
- (3) プログラム公式言語である英語でコミュニケーションが取れること
- (4) 自宅で zoom 等使用にあたって安定した通信を確保できること
- (5) 参加については、在籍する高校の校長許可を得ていること

c. 参加費:

日本人高校生 一人 5,000 円

## 5. 主催者ならびに協力組織

主催:公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)

協力:公立大学法人神戸市外国語大学

インド環境教育センター

韓国ユネスコ国内委員会

タイユネスコ国内員会

モンゴルユネスコ国内委員会

## 6. プログラムスケジュール

内容	開催日時(日本時間)・開催場所
開会式・交流会	8月4日(木) 13:30~17:30(全員オンライン)
第1回対話型ワークショップ	8月5日(金) 14:30~17:30(全員オンライン)
第2回対話型ワークショップ	8月8日(月) 14:30~17:00(全員オンライン)
第3回対話型ワークショップ	8月9日(火) 14:30~17:00(全員オンライン)
Model UNESCO	9月11日(日) 12:00~19:00(全員オンライン)
リフレクション(振り返り)	9月17日(土) 14:30~17:30 (日本参加者:東京会場集合 海外参加者:オンライン) ※全員オンラインでの参加に変更の可能性もあり。

## 7. プログラム内容(変更の可能性もあり)

1. 開会式・オリエンテーション 8月4日(木) 13:30~17:30 (全員オンライン)	
時間 (日本時間)	アクティビティ
13:30-14:00	開会挨拶 プログラムの概要説明
14:00-15:10	全体交流 8グループに分かれて、2回実施する
15:10-15:30	休憩
15:30-16:00	Model UNESCO についての説明
16:00-16:15	休憩
16:15-17:00	ペア発表・ペア交流
17:00-17:30	今後のスケジュール説明 閉会の挨拶

オリエンテーションとしてプログラム全体の流れについて説明が行われる。また約1ヶ月に渡って共に学び合う参加者同士での交流会を行う。またこのタイミングで日本と海外の参加者のペアが発表される(20カ国(20ペア))。ペアは今後担当国に関してのリサーチ・政策策定について議論を行い、最終的にポジションペーパーを提出する。

2. 対話型ワークショップ	
第1回対話型ワークショップ(答えのない問いを考える) 8月5日(金) 14:30~17:30(全員オンライン)	
第2回対話型ワークショップ(Model UNESCO に似た形式でのワークショップ) 8月8日(月) 14:30~17:00(全員オンライン)	
第3回対話型ワークショップ(ゲスト講師との対話型) 8月9日(火) 14:30~17:30(全員オンライン)	

第1回対話型ワークショップ 8月5日(金) 14:30~17:30 スケジュール案

時間 (日本時間)	アクティビティ
14:30-14:45	オリエンテーション
14:45-15:15	自己紹介&フリートーク
15:10-15:30	休憩
15:30-16:10	グループディスカッション
16:10-16:40	全体での共有
16:40-17:00	休憩
17:00-17:20	リフレクション
17:20-17:30	閉会、事務連絡等

第2回対話型ワークショップ 8月8日(月) 14:30~17:00 スケジュール案

時間 (日本時間)	アクティビティ
14:30-14:45	Model UNESCO についてのオリエンテーション
14:45-15:15	Model UNESCO のルールと手順について
15:15-15:30	休憩
15:30-16:30	Model UNESCO 体験のためのアクティビティ
16:30-16:40	全体での共有
16:40-17:00	次回案内

第3回対話型ワークショップ 8月9日(火) 14:30~17:00 スケジュール案

時間 (日本時間)	アクティビティ
14:30-14:45	オリエンテーション
14:45-15:45	ゲスト講師からの講話と質疑応答
15:45-16:00	休憩
16:00-16:20	ゲスト講師を交えての意見交換
16:20-16:40	リフレクション
16:40-17:00	閉会、事務連絡等

答えが無い様々な問いを考えて他者との対話を深めることで「自己・他者・社会」への理解を深めることを目的としたワークショップを行う。加えて将来のキャリアを考える上での参考となる人物(国際機関の職員など)と参加者との対話セッションの機会を設定して参加者にとっての興味関心・楽しさも考慮した多様な手法を用いて上記3点について考える場を提供する。

### 3. Model UNESCO

9月11日(日) 12:00~19:00(全員オンライン)

参加者は各国の大使になりきり、実際の国際連合教育科学文化機関(UNESCO)の国際会議を模擬する。活動を通じて参加者は国際社会の課題についての理解を深め、異なる背景を持つ他者との協働を通じて問題解決能力を身に着ける。また自国ではない担当国/地域について学びを深めることで、より俯瞰的な視野を育むことで寛容性を培う。議題は UNESCO の活動領域である教育、科学、文化、情報・コミュニケーションの領域から設定をする。議題については決定次第 ACCU のホームページにおいて発表をする予定。

#### Model UNESCO 9月11日(日) 12:00~19:00 スケジュール案

時間 (日本時間)	アクティビティ
12:00~18:30	Model UNESCO
18:30~19:00	次回案内

### 4. リフレクション(振り返り)

9月17日(土) 14:30~17:30

(日本参加者:東京会場集合 海外参加者:オンライン)

※全員オンラインでの参加に変更の可能性もあり。

参加者はプログラムを通じての気づき・学びや今後のアクションプランなどについて互いに共有することによって、活動の成果をそれぞれが改めて認識するとともに今後の個人の活動に向けたモチベーションを高める。

#### リフレクション(振り返り) 9月17日(土) 14:30~17:30 スケジュール案

時間 (JST)	アクティビティ
14:30-14:45	オリエンテーション
14:45-15:15	リフレクション
15:15-16:00	全体での共有
16:00-16:30	休憩
16:30-17:30	閉会式

### 8. 公式言語

英語

逐次通訳・同時通訳は用意されない

### 9. 評価

終了後、参加者 40 名の高校生に対してアンケートを実施し、後日報告書を発行する(日・英)